

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.31 2016年2月3日(水)

**本日(2/3)は「1月末集約数」の報告日です!!**

現在、北海道・青森・岩手・東京・滋賀・兵庫・岡山・香川から報告アリ

2015年度私学助成全国署名

(2/3・16:00 現在)

昨年から67,246筆増で**6,335,315筆**に

年末に発表された2016年度文科省私学経常費助成関係予算案(国庫補助分)は、総額で前年比14億円増(対組替予算比)、生徒・園児一人あたりの単面においても、全学校種で前年比0.9%増額計上されています。文科省の文教関係予算が90億円削減されている中でこの増額を勝ち取ったことは運動の成果として非常に大きな価値をもっています。一方で防衛関係予算は740億円増で計上されている情勢の中、私学関係予算をはじめ教育予算を増額させる取り組みは、弱める事が許されない情勢です。その点からも私学助成全国署名集約数を下げ止め、圧倒的な数の紹介議員を獲得することが求められます。

## 私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に!

2016年1月29日

新潟県私学の公費助成をすすめる会  
新潟市中央区芥川1-13-13  
TEL 025-286-7600

**東京:6万2,000、兵庫で2,000、岩手・北海道で1,000、香川700超増加**

本日2/3の「1月末集約数報告」は16:00現在8都道府県から報告が届いていますが、東京の62,000を筆頭にいくつもの道県で集約数が増加しています。昨年も年明けから提出集会までに22万5,000筆集約数を増加させています。全国各県で最後まで注力していきましょう。

昨年実績と同時に当面目標の7万筆も超過させた岩手でさらに集約を増やしていることは、大きな勇気を与えてくれます。兵庫の2,000筆増も、昨年実績超過への期待を持たせてくれます。

**昨年を超える集約をめざし、2.18.「私学助成全国署名提出集会」まで全国であらゆる取り組みを!!**

右は1月23日(土)に新潟で取り組まれた「新春私学助成街頭宣伝」の様子を報じる「私学助成すすめる会ニュース」です。年末で終了させず、寒風の中、「私学助成署名」の協力を訴える姿には頭が下がります。新潟では今年度も1月29日に学費ホットラインに取り組みました。その宣伝も兼ねた街頭署名行動です。このようにあらゆる手だてを講じて、昨年実績を超える取り組みをすすめてみましょう。

1月中旬にお伝えしたように、2015年度の私学助成全国署名提出院内集会は2月18日(木)12:00~となりました。予算案は増額計上ですが、あくまでも「案」であり、現在の政治・国会情勢は、どのような結果となるかは予断を許さない情勢といえます。「就学支援金・私学助成大幅拡充」を実現させるには、国会での「請願の採択」が重要です。そのためには圧倒的な署名の数が必要になります。紹介議員の承諾もその集約数を見ている。各都道府県のすすめる会、父母懇、私教連組織においては、必ず全学園の組織に、署名の集約を再度呼びかけましょう。署名用紙の再配布も含めて取り組みをすすめてください。

県の来年度予算で学費軽減制度の拡充を!

# 新春 私学助成街頭宣伝を実施



寒風のなか、街頭に立ち奮闘する父母や教職員(1月23日 新潟市本町通)

「私学の公費助成をすすめる会」は二十三日、新潟市本町通で新年初の私学助成街頭宣伝行動を実施しました。県内私立高校の父母・教職員二〇名が参加し、寒風のなか「私学も無償に」ののぼり旗を立て、チラシを市民に配りながら、にぎやかに宣伝行動をおこなっていました。

ハンドマイクを握った渡辺事務局長は、来月中旬に発表される県の来年度予算案で、子どもたちが学費の心配なく安心して私立高校に通えるよう、県独自の学費軽減予算の増額・拡充などを訴えました。また、国会あて私学助成署名への協力も市民に呼びかけました。呼びかけに対し市民は足を止めて、快く署名に応じてくれました。その日は人通りがまばらでしたが、七十三筆の署名が集まりました。

## 国あて署名の協力呼びかけ

## 学費ホットライン開設

「私学の公費助成をすすめる会」と「私学教育を守る父母の会」は二十四日、保護者・県民の学費に関する質問や悩み等の相談に応じるため、今年も学費ホットラインを開設しました。ホットラインの開設は、今年で七年目になります。相談員には、私立高校の事務職員や教員、父母の会役員があたりました。ホットライン開設にあたっては、昨年と同様、新潟市内・長岡市内の全中学校に案内と「学費助成制度・奨学金パンフ」(「すすめる会」作成)を郵送するとともに、初めて新潟市と上越市の全中学校にも案内とパンフを郵送しました。前日の新潟市での街頭宣伝行動でも案内チラシを配り利用を呼びかけました。

開設時間の一〇時を過ぎた頃から電話が鳴り始め、終了の午後五時まで断続的に相談が寄せられました。相談内容は、私立高校に入学が決まったものの、学費の負担が心配なことや学費軽減制度の内容を知りたいという相談が多くを占めました。母子家庭や家計収入が二〇〇〜三〇〇万円程度という家庭からの相談が目立ち、厳しい家計状況でありながらも何とか私立高校に子どもを通わせたいという、切実な思いが伝わってきました。

私たちは、県に対し、世帯年収三五〇万円未満は学費無償、世帯年収三五〇万〜五九〇万円未満は授業料無償を当面の要望に掲げていますが、一日も早い制度の拡充が求められます。



**私学助成署名 紹介議員獲得の取り組みを強めよう!!**

**ついに岩手で...生活の党「小沢一郎議員」が紹介議員に、埼玉が昨年度紹介議員数を上回る応諾を獲得!!**

600万を超えるわたしたちの請願を採択に結びつける大きな力が、全国国会議員の過半数の360名の紹介議員です。2/1時点の各都道府県の応諾国会議員報告は北海道、青森、岩手、埼玉、千葉、滋賀、兵庫、岡山、広島、香川、佐賀から届いています。現在10道県で5党派+無44名(衆31、参13)から応諾を獲得しています。埼玉では、昨年8月の議員懇談を活かし、前年度を上回る紹介議員を獲得しています。また、岩手では、生活の党の小沢一郎議員が紹介議員を応諾してくださっています。「私学に通う生徒の学ぶ権利の保障」「私学教育の充実」「私学助成の拡充」「教育に公平を」「私学の無償化」の一点共同を訴えて、紹介議員獲得の動きを強めましょう!!

**上記以外の都府県は2/3時点の応諾紹介議員を至急全国私教連へお知らせください。**

その後増えた議員はその度にお知らせしていただく形をお願いします。